

分野:専門分野Ⅰ 科目:基礎看護学臨地実習		単位 (時間)	2 (90時間)	開講 時期	2年次後期
講師名	臨床指導者・指導教員	実務経験 看護師として医療機関に勤務経験あり			
授業概要	看護学の基礎的知識・技術を実際の看護場面で実施でき、保健医療における看護の役割を認識できる。				
到達目標	1.受け持ち患者を通して、看護過程の展開の実際を学ぶ。 2.基礎的看護技術がその患者に適した方法で実施できる。 3.看護援助の実際を正確に記録、報告できる。 4.協力的人間関係がとれる。				
授業計画	回	実習内容	授業方法	講師	
		<p>日常生活援助が必要な患者を1人受け持ち看護過程の展開を行う。</p> <p>受け持ち患者に必要な看護援助を行う。</p> <p>患者とのコミュニケーションを行う</p> <p>看護介入計画、評価考察の発表を行う。</p> <p>基礎実習 実習要綱参照</p>	<p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p> <p>実習</p>	臨床指導者 臨床指導教員	
使用テキスト等	1. 事例展開:医学書院 リンダ・J・カルペニート＝モイェ 看護診断ハンドブック 2. 看護記録:医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ				
評価方法	学習目標の到達度及び実習態度をA～Eの5段階で評価。評価項目の合計点数を評価項目で除し100点満点で表記。(臨床指導者評価40%、教員評価60%) ※評価基準 A:100点かなりよい B:80点よい C:60点ほぼよい D:40点やや課題が残る E:20点 ※基礎看護学実習を修得できない場合は、専門分野Ⅱ臨地実習、統合分野臨地実習を修得できない。				

